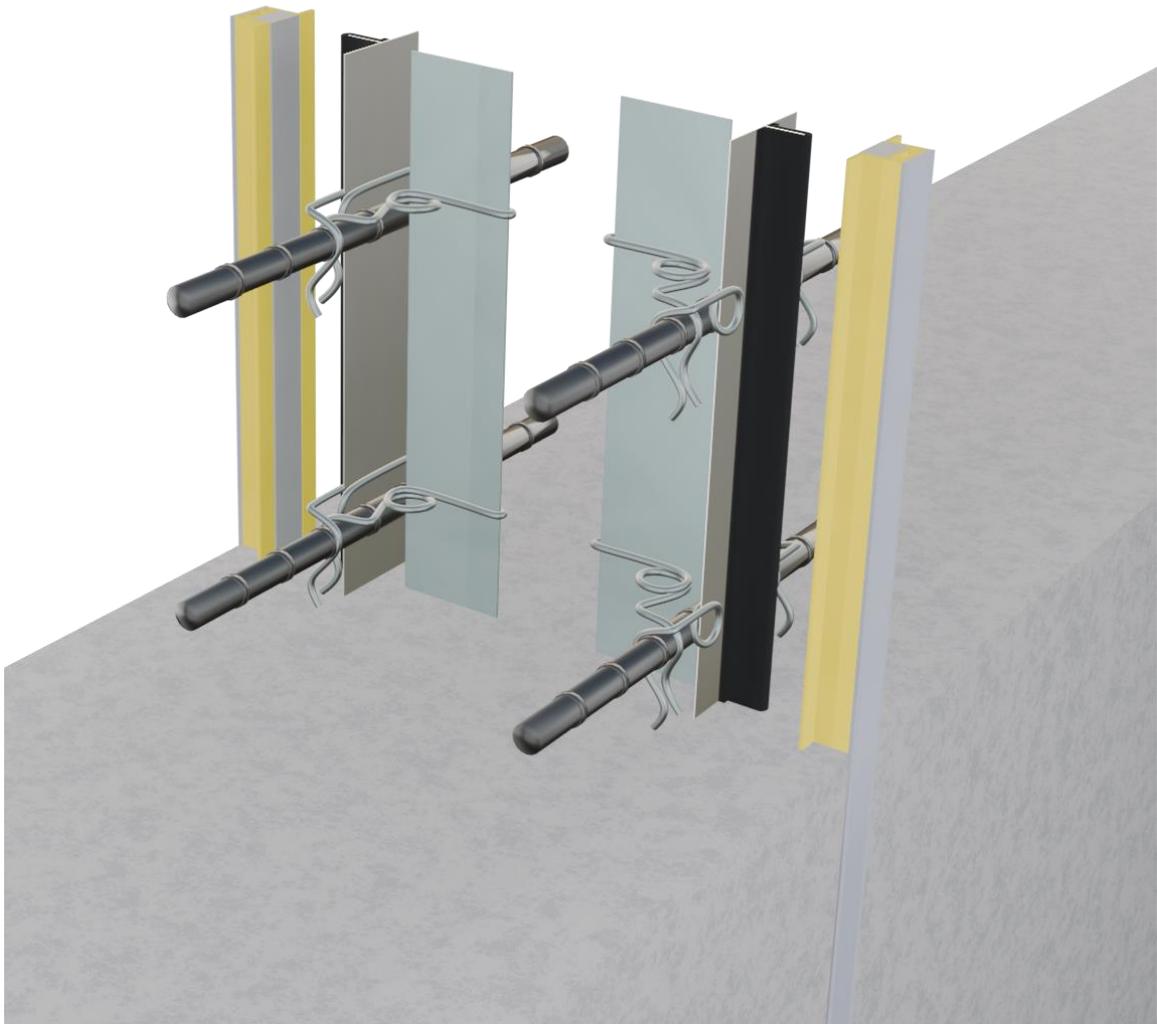


建築用ひび割れ誘発目地材

# KB目地<sup>アーキ</sup>ARタイプ

## 取扱説明書



日本仮設株式会社

## 【はじめに】

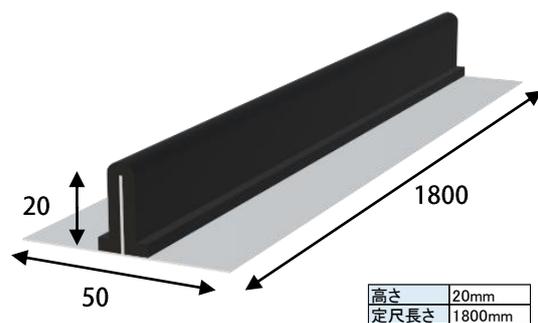
- 当製品を使用する前に、必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- 本取扱説明書のなかで、 表示は注意事項が記載されています。これは、特に重要な事項ですので、十分な理解の上で作業をお願いします。

## 【目次】

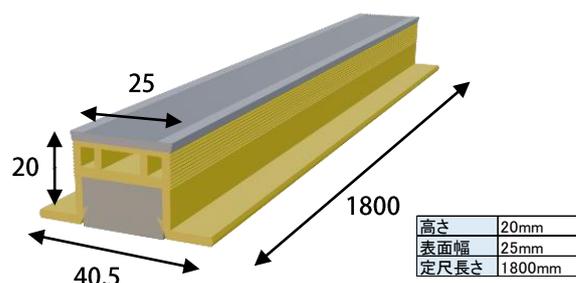
1. 誘導鉄板取付	2
2. KBスプリング	3
3. 目地本体取付・一般部	3
4. 目地本体取付・コーナ一部	5
5. ジョイント部	5
6. 表面目地材取付	6
7. 打設	7
8. 脱型	7
9. 完成	7

## 【規格】

ARタイプ本体



化粧目地

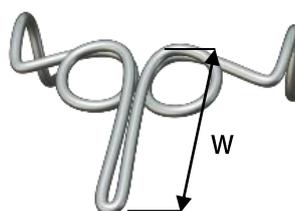


KBスプリング



対応鉄筋径	D13~D19
-------	---------

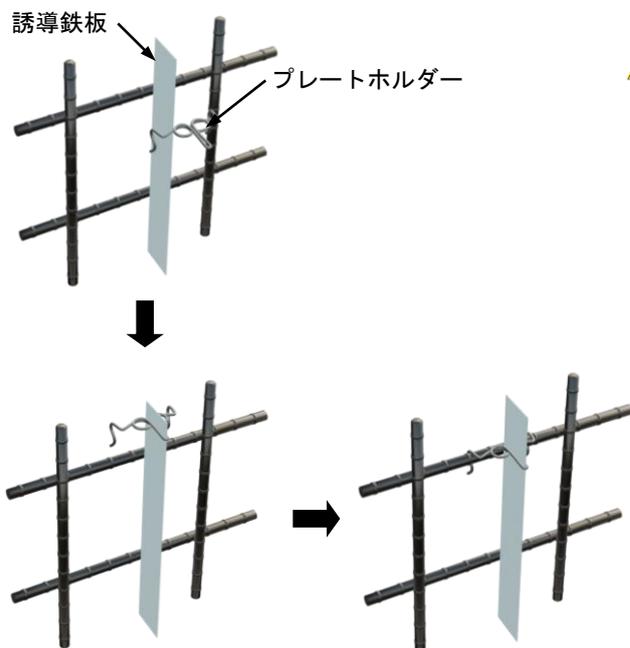
プレートホルダー



対応鉄筋径	D13~D19
対応鉄板幅(W)	50・100・150mm

## 1. 誘導鉄板取付

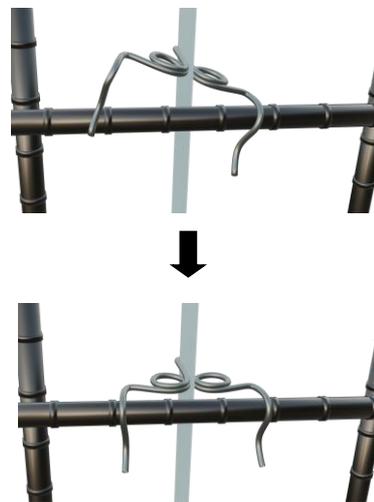
- ① 配力筋に KB 目地取付位置を墨出しする。
- ② プレートホルダーで誘導鉄板を取付する



誘導鉄板の切断面によりケガをしないよう、十分に注意して設置して下さい。



プレートホルダーはバネを片側ずつ配力筋に引っ掛けるよう取付けて下さい。



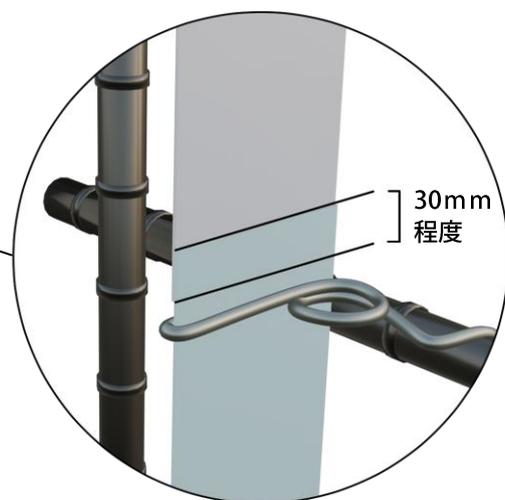
- ③ 次の誘導鉄板を取付ける。



プレートホルダー間で誘導鉄板が波打たないように、下から片追いで取り付けて下さい。

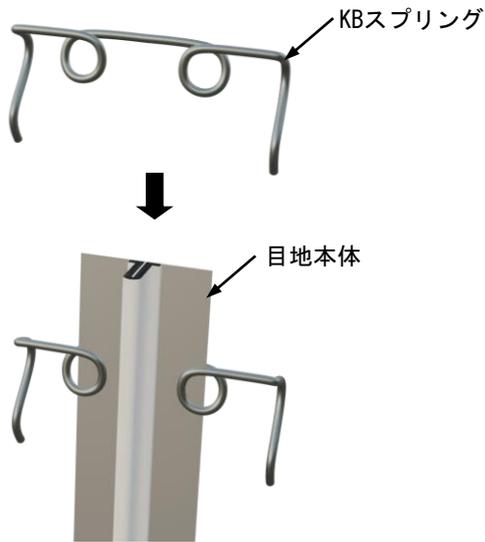


誘導鉄板の重ねは30mm程度として下さい。



## 2.KB スプリング取付

### ① KB スプリングに目地本体を差し込む。



KBスプリングは下図の向きで取り付けて下さい。



KB スプリング目安使用量（目地長さ）

～1050mm 以下 2 個

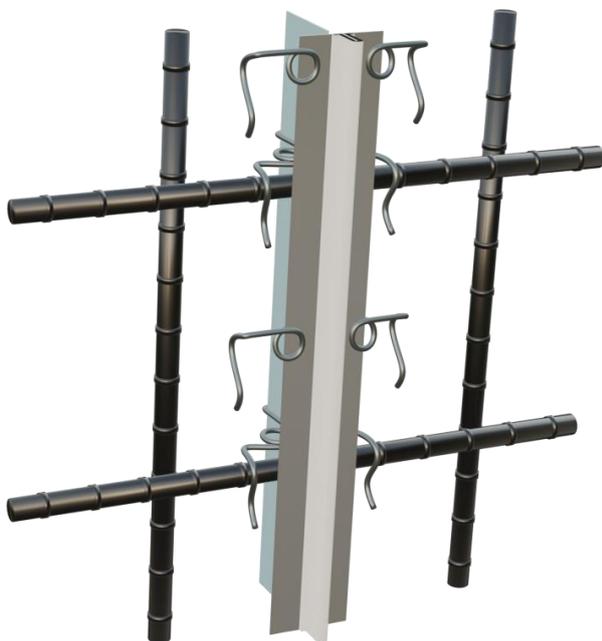
1051mm以上～1800mm 以下 3 個

※計画内容により異なります。



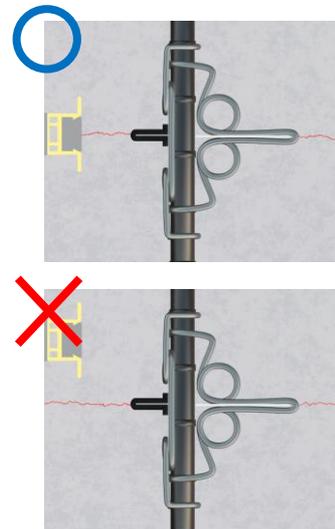
## 3.目地本体取付・一般部

### ① 墨出し位置に目地本体を仮置きする。

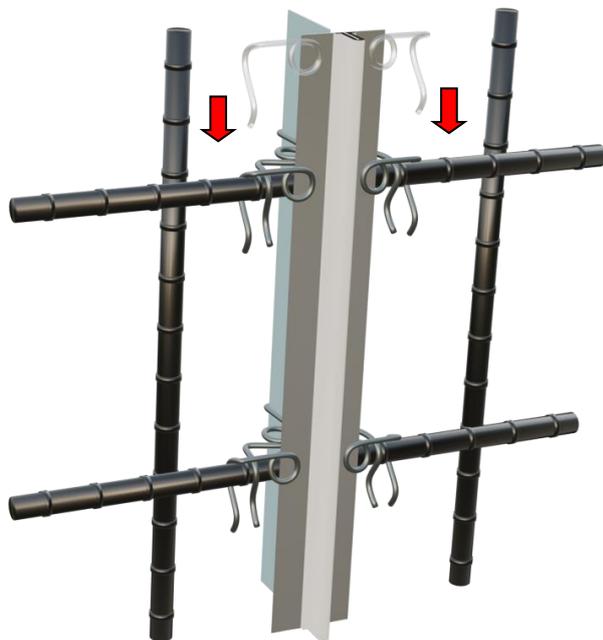


化粧目地や目地棒などの表面目地材と目地本体の位置がずれると、ひび割れを集中する性能が低下します。

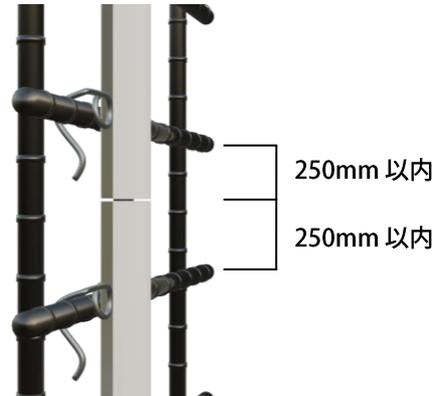
誤差が無いように(表面目地幅内)墨出しを行なって下さい。



- ② KB スプリングを配力筋位置までスライドさせて固定する。



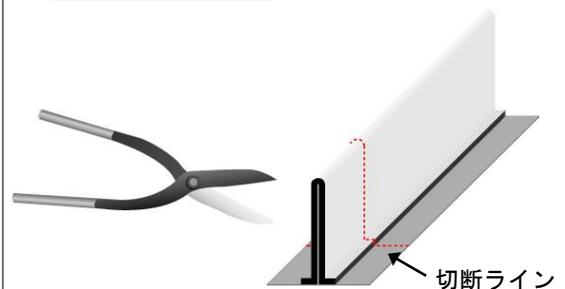
KB目地ジョイント部は端部から250mm以内にして下さい。



- ③ 設置高さに合わせて目地本体の長さ調整をする。  
(事前に切断して下さい)



目地本体の長さ調節は金切りばさみ、もしくは高速回転カッターで切断して下さい。

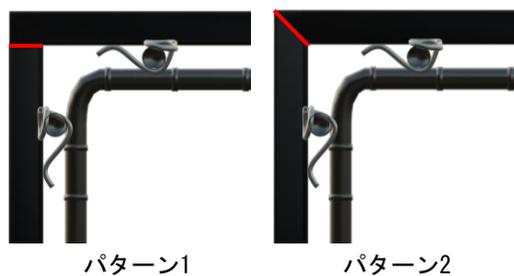


#### 4.目地本体取付・コーナー部

- ① コーナーに合わせて、目地本体を切断して取り付ける。



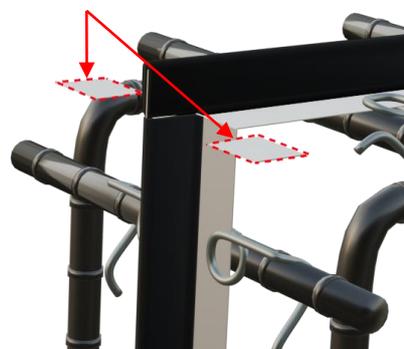
目地本体のコーナーの収まりは、下図のパターンがあります。



パターン1は、天端部のAR本体取付前に図示の突起部を切り落とすと、ジョイント用のブチルテープが貼りやすいです。



切り落とし

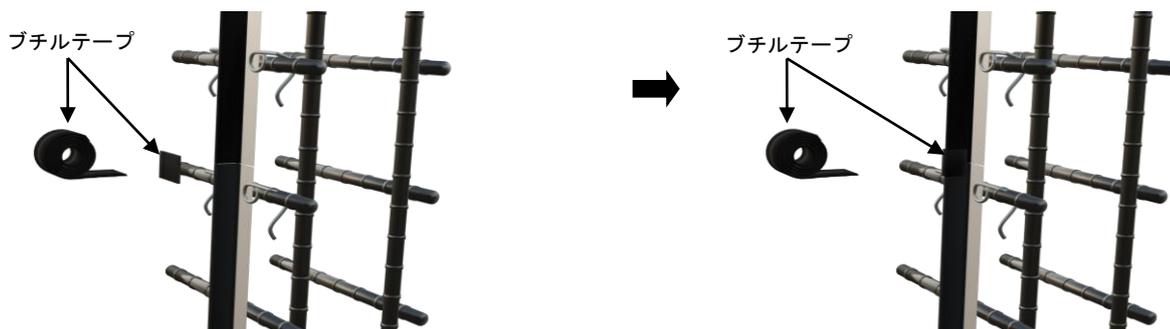


- ② 目地本体の小口をブチルテープで覆うように貼りつける。



#### 5.ジョイント処理

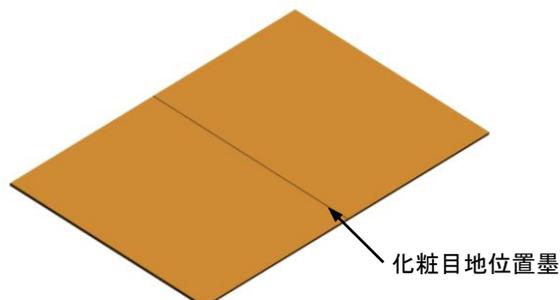
- ① 幅 30mm のブチルテープを適当な長さに切る。
- ② ジョイント部の特殊ブチルゴムを覆うように貼りつける。



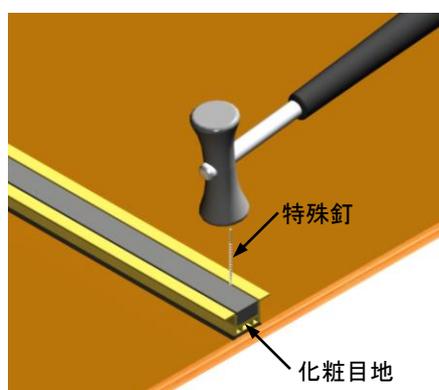
## 6.表面目地材取付

### 【化粧目地を使用する場合】

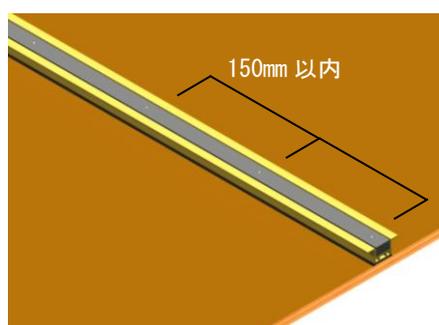
- ① 面板を配置する。
- ② 化粧目地取り付け位置を墨出しする。



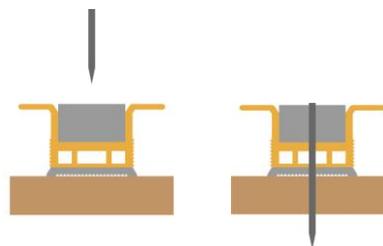
- ③ 特殊釘を打ち、化粧目地を固定する。



- ④ 特殊釘のピッチは150mm以内とし、順に固定する。



特殊釘は、化粧目地側から打ち込みます。  
ソフト材は取り外さず固定して下さい。



位置は中央付近とし、ソフト材表面程度まで打ち込みます。  
但しハンマーを当て、目地を割らないように  
ご注意ください。



端部の釘位置が近いと、割れの原因  
となります。  
50mm以上離して下さい。



化粧目地は、面取りやハンチなどの加工が可能です(加工費別途)。  
加工には2週間程度を頂いておりますので、  
お早めにお申し付け下さい。



## 7.打設

- ①型枠を建て込む。
- ②離形フィルムを剥がす。
- ③コンクリートを打設する。



極端な片打ちを行わないように打設して下さい。



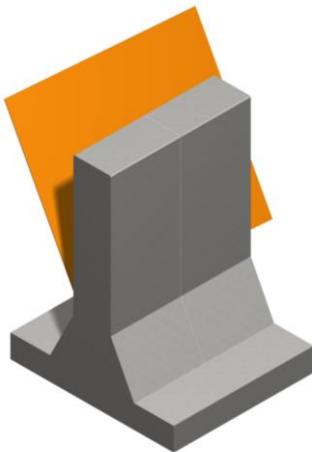
特殊ブチルゴムに付いている離形フィルムは生コン打設直前に剥がして下さい。



目地付近は「ジャンカ」などが出来やすいので、目地や誘導鉄板にぶつからないよう注意しながらバイブレーターを使用して下さい。

## 8.脱型

- ①型枠を解体する。
- ②型枠から特殊釘を抜く。



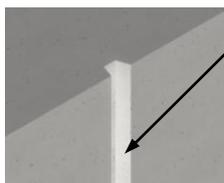
特殊釘が躯体面(化粧目地)に残った場合も、同様に抜いて下さい。



特殊釘は「ひねり」ながら抜くと、抜き易いです。

### 【目地棒を使用した場合】

- ①必要に応じて、目地棒跡表面処理を行う。



目地棒跡表面



一般的にコーキング処理を行っておりますが、止水機能はKB目地本体に備っております。

## 9.完成

